

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	313.4	移送サービス事業(重度身体障害者分)	会計	01	一般会計
基本施策	5	障がいのある人等の自立した生活を支える	款	03	民生費
担当部課名	健康福祉部高齢障害課		項	01	社会福祉費
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	目	04	障害福祉費
			細目	102	障害者保護費
			細々目	03	身体障害者保護事業(県単)

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	在宅の障がいのある人等であって歩行困難な者	成果(どうなるのか)	移送サービスを提供することにより、社会参加の促進を図る
	本年度事業内容	伊賀市移送サービス事業:利用の可否は市で決定し、サービスの提供は伊賀市社会福祉協議会へ委託して実施する。 対象者:身体障害者手帳または介護保険の要介護認定で要支援2以上の者であり、歩行困難な者(詳細基準あり) 利用負担:支所管内移動 1回300円、伊賀市内及び名張市内の移動 600円、その他 1時間1,000円 利用制限:原則として、1月に4往復8回までの利用に制限。 利用目的:通院または公共機関への用務に限る		
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等 伊賀市移送サービス事業実施要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,971	6,838	6,838
委託料	2,971	6,838	6,838
その他			
合計(A+B)	4,411	8,278	8,278
財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	1,980		
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,431	8,278	8,278
上記 ~ に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用件数(介護予防事業を含む)	件	36,294	25,000	25,000			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
対象者適用比率	事業の利用できる対象者を分母とし、利用者をも分子とした。	%	16 目標 (20)	17	18
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

・介護予防生活支援事業の移送サービスと同じ。

評価	必要性	4	伊賀市の交通体系は不十分であるため、ニーズは年々高まってきているが、運送事業については、福祉タクシー事業者やNPO法人等の参入状況も踏まえて、委託事業のあり方を検討していく必要はある。しかしながら、過疎地等で事業所が対応できない地域については、今後も行政が責任を持って運営していく必要がある。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		